



木更津市オリジナルゆるスポーツ



「ぼんぽこ」

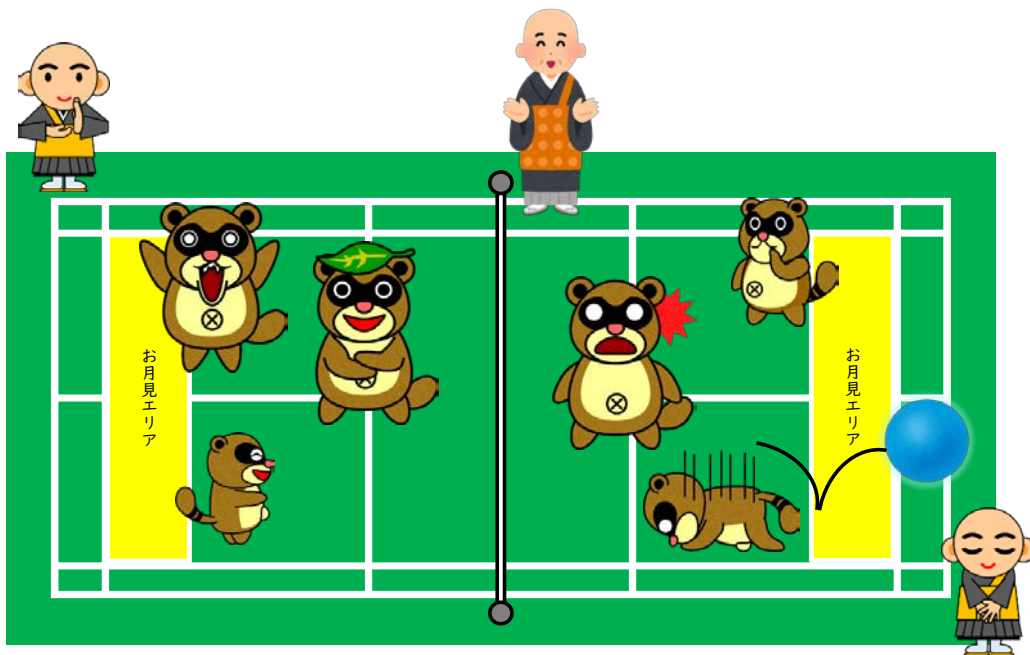
初版

(1) 競技の概要

バドミントンコート（シングルス用）内で、中央のネットを起点に両チームに分かれ、直径約25cmのゴムボールを、特製エプロン（たぬきのお腹をイメージできるように加工した）を用いて、互いに打ち返し（レシーブし）あい、得点を競う球技です。

(2) コート説明

- ・バドミントンコート（シングルス 横13.4m×縦5.18m）を用いる。
- ・コートの中には、特別エリア（お月見エリア）がある。



(3) ルール説明

- ・競技人数（プレーヤーは、たぬきと呼ぶ。）は、各チーム3名
- ・主審（和尚と呼ぶ。）1名、副審（小僧と呼ぶ。）2名を配置
- ・チームの持ち点は5点で、返球ミスをするると1点失う。（反則があった場合も失点する）
- ・1ゲーム3セット制
- ・持ち点が無くなると1セット終了。ただし、1セット10分を限度とし、持ち点が多いチームがセットを取る。
- ・3セット行い、2セット先取したチームが勝ちとなる。

- ・1セット終了後、コートチェンジを行う。
- ・コートチェンジの際は、全員で「証城寺の狸囃子」の歌を歌いながら、移動する。
- ・競技はサーブで開始する。
- ・セット始めのサーブ権は、ジャンケンで決める。
- ・サーブする順番は、ローテーションとする。(ゲーム中のローテーション変更は不可)
- ・サーブしたボールがネットに触れた場合、コート外・お月見エリアに落ちた場合は失点。
- ・返球できなかった場合は、相手側サーブで競技を再開する。
- ・返球する際は、ボールを特製エプロンにのせて、3歩まで歩ける。
- ・ボールを特製エプロンにのせてから、3秒以内に返球を行う。
- ・返球はコート内で、1バウンド以内で行う。
- ・最初のバウンドをお月見エリア内に返球すると、相手チームに「2点」の失点を負わせることができる。ただし、審判の「お月見」の掛け声に対して、お月見エリアに入れたチーム全員が「ぼんぼこ！」の掛け声とお腹をたたく動作をしないと無効になる。
無効になった場合は、ラリー前の得点から再開する。
- ・返球する順番はローテーションを事前に組み、1球ごとに交代する。(ゲーム中のローテーション変更は不可)

(4) 反則行為

- ・特製エプロン以外で直接ボールに触れた場合。
- ・仲間のためきに一度渡してから返球をするなど、一連のやりとりに複数のためきに関わる行為。
- ・ネットにボールを当てる。
- ・ネットに触れる。

(5) 禁止行為

- ・審判(和尚、小僧)の指示に従わない。
- ・相手ためき、和尚、小僧、観客等への暴言・暴力行為
- ・その他、主審が禁止する行為・行動

(6) 感染症防止対策の特別ルールも追加可能

ボールを返球する順番は、ローテーションとする。

※同時にコート入るためきの数を減らし、返球する順番を決めることで、ためき同士の接触を避ける。

※返球した場合は、一度コートから出る。

※同じためきが続けて返球することは不可で、セット中のローテーション変更も不可